

授業科目 支援機器 II (コミュニケーション機器)

【担当教員名】 河合 俊宏	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎
【概要・一般目標：GI0】 運動機能障害、音声言語機能障害、聴覚障害などに起因するコミュニケーション障害は、コミュニケーション機器等を用いてコミュニケーション能力を代替または拡大することができる。授業では代表的機器である意思伝達装置、環境制御装置について習得し、合わせて関連する技術についても理解する。				
【学習目標・行動目標：SB0】 1. リハビリテーション工学の概念とコミュニケーション機器・環境制御装置について説明できる。 2. 文字・座標等の選択方式について説明できる。 3. コミュニケーション機器と環境制御装置の実例について習得する。 4. 臨床応用例、機器と人間、環境との適合について説明できる。 5. リハ工学周辺技術とコミュニケーション機器との関係について説明できる。 6. 今後の研究開発課題について分析できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	リハ工学の歴史・概念		1	講義
2	リハ工学における、コミュニケーションの捉え方		1	講義
3	コミュニケーション能力開発		1	講義
4	コミュニケーションの代替・拡大		2	講義
5	リハ工学周辺技術と実際のアプローチ		3	講義
6	文字の選択		2	講義
7	文字の選択方法		2	演習
8	電子回路の基礎		1	講義
9	コミュニケーション機器の電子回路		1	講義
10	コミュニケーション機器と装具		3、4	演習
11	コミュニケーション機器の臨床評価		4	講義
12	福祉用具プランナーに必要なコミュニケーション・社会参加の定義		5	講義
13	環境制御装置の実例		4	講義
14	今後の研究開発課題		6	講義
15	まとめ（到達度評価）		6	質疑応答
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料		配布プリント		
【評価方法】 出席・授業内のレポート、演習の到達度		【履修上の留意点】 非常勤講師による講義です。原則土曜日の開講となります。授業日は不定期です。開講日に注意すること。 開講日の事前に欠席することが明らかな場合は、非常勤講師支援担当の助教まで書類提出し、指定日までに 単位認定のための課題をこなすこと。 事前の連絡が無い場合は、欠席とします。また部・サークル活動による欠席の場合も、課題提出が必要です。 出席していただだけでは、単位認定しません。演習も含めた課題を出します。到達度で評価します。		